

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2024年9月号(年3回発行) 第165号

未来に向けての取り組みが始まっています

今年の夏も猛暑に見舞われ、熱帯気候と言わんばかりでしたが、ハローフレンズを手にとってくれた方々は、お変わりありませんでしょうか？

さて、年初に行っていた総会報告が、この9月号で報告となりました。「あれ、変だな？」って思われる方もいるかもしれませんが、23年11月の総会で事業期間の変更を承認頂き、24年から事業期間を4月～3月とさせて頂きました。

この総会では、新たな体制になって二度目の理事交代があり、ふじみの国際交流センターの活動を長きに渡り支援頂きました沼田さんが退任されました。この場を借りて、御礼を申し上げます。今後も益々のご活躍を願う次第です。

FICECは新たに梅村理事、森理事を迎えまして、新体制での船出となりました。今後ともよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスは、マスクを外しての生活に戻りました。しかし8月には第11派か？と言われる感染拡大がみられ、まだまだ予断を許さない状況かと思われまます。重度化しにくいとは言え、事業の推進にあたっては引き続き感染予防対策を取るよう努めたいと思います。

ニュース等では昨年へ続き、海外からの訪問者が増え、円安の効果もあいまって、今や観光地ではオーバーツーリズムと言われるまでになりました。令和5年末の在留外国人の数は342万人弱であり、前年同時期と比べて33万6000人増加し過去最多となりました。

8月3日に行われた上福岡七夕祭りに今年も出店しましたが、会場では外国ルーツを持つ方々が多くいたことが記憶に新しいところです。ますます共に生活していると感じました。

ふじみの国際交流センターの安定的な運営は、地域で共に暮らす外国人の方にも影響を及ぼすことから「10年後に繋がる事業の在り方について」内部議論を始めました。3つの事業(NPOとしての事業、行政との協働事業、FICECの事業)を基本に、進め方を整理し、必要な資源の投入、また、利用者の拡大により、支援が追いついていない子供の学習支援事業は自治体にも支援をお願いし、FICECを利用する方々が、安心出来るような取り組みをしてみたいと考えます。加えて「若い人」の育成です。組織継続の観点からも重要なことでもありますので、人員の確保に向けた取り組みをしてみたいです。

2024年度が、FICECに関わるみなさまにとって良い1年となります様、共に盛り上げて頂きたく、お願いとなります。

ふじみの国際交流センターを今後ともよろしくお願い致します。
(理事長 室井伸幸)

